

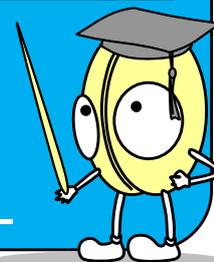


### 実需者から望まれる品質を目指そう！

～排水対策は安定生産への近道です。

基本技術の励行を行いましょ～

香川県中讃農業改良普及センター



## 実需者から求められる麦づくりは安定生産が第一！

令和7年産麦は、概ね11月中旬に播種が始まり**3月中旬までの低温**により、**生育は前年より遅れました**。6月9日からの長雨までに収穫を終えたほ場では、品質・収量ともに比較的**良好**となりました。

収量・品質を確保するために、**水稻の収穫後の排水対策**や**適期播種**など、基本技術の励行を行いましょ。

また、実需者からは**年次変動の少ない安定生産**が要請されています。品質面では、特に**小麦のタンパク質含有率**を9%台に**高める**よう改善が求められていることから、**追肥重点型の施肥体系**など、品質改善に向けた取組みを進めましょ！

## 麦づくりは播種前から始まっています。



**大雨が降った場合**  
水稻収穫後に排水溝  
(明渠)などを設置し  
ないと  
こうなることも…。

降雨があると“わだち”に水が溜まります。あらかじめ、排水溝を設置するとともに、ほ場周辺に明渠（ヨケ）を設置しましょう。溜まってしまった水は、鍬や管理機などで排水溝へ出しましょう。

# “麦は「湿害」に弱い畑作物です“排水対策第一で！”

## ＜水稻収穫後＞

降雨後の雨水を 素早く ほ場外に排出しましょう！  
(土壌に浸みこむと乾くまでに時間がかかります。)

ほ場の周囲などに明渠排水（一輪管理機、溝堀機を利用）の設置をしましょう。

・弾丸暗渠やスタブルカルチの利用も有効です。

耕起が深いと  
雨水を保ちやすく  
なるので注意！

## 浅耕処理により乾田化促進！

### 処理前

コンバインの切りわらは夏の干ばつ対策の敷きわらと同じです。

切わらが堆積していると乾きにくい

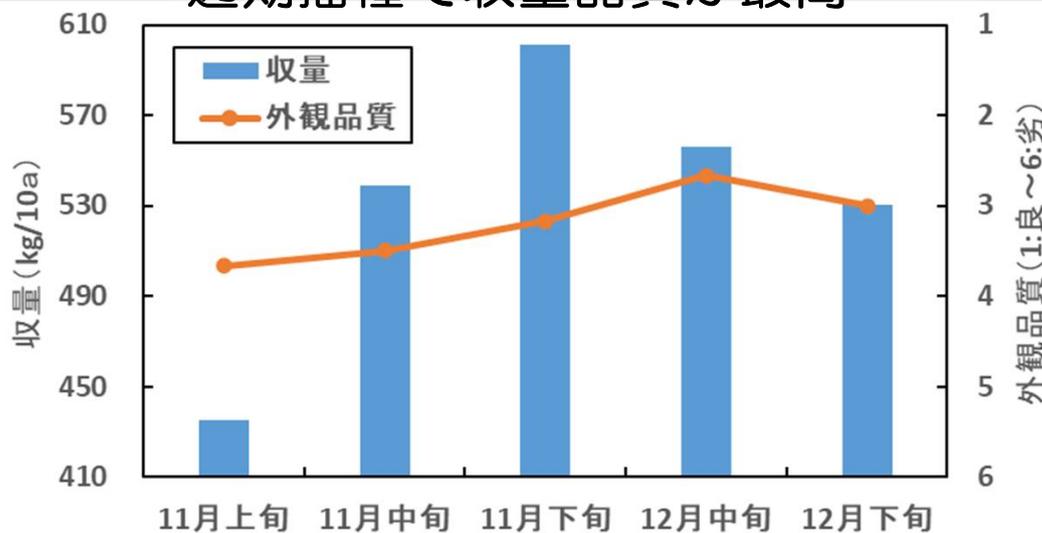
3~4cmを  
目安に耕起

### 処理後

稲わらをすき込むことで乾田化

## 条件の良い時を逃さずに播種しましょう

### 適期播種で収量品質が最高



図「さぬきの夢2023」の播種期と収量及び外観品質  
(令和4~6年播の3年間平均、農業試験場)

### ◎適期播種

気温の上昇に伴い、播種適期は遅くなっています!!

12月に播種する場合は、播種量を増やし、施肥量を減らします。

◎播種時期が遅れると収量は低下し、降雨による収穫の遅れや穂発芽など、品質低下のリスクが高まります。

→播種「適期」になり、土壌水分が適正になったら、速やかに播種しましょう! 播種適期は平坦地で11月15~30日、中山間地で11月10日~20日です。

# 播種から除草剤散布までを一体的に行いましょう。



◎天気予報をもとに作業計画を立てましょう。  
一連の作業をスムーズに行うため、作業班体制などを組み、計画的に行いましょう。

## 除草剤の適正処理で効果を高めましょう。

### チェック

#### 播種前に雑草が多い場合

非選択性除草剤は耕起前に処理しましょう。

#### 播種前

雑草が多い場合は、ラウンドアップなどの非選択性除草剤を事前に処理し、草を枯らしてから播種しましょう。播種後散布では、雑草茎葉にかかりにくいいため、効果が劣ります。

#### 播種時

ボクサー又はリベレーターフロアブルのどちらかを散布します。やむを得ず、非選択性除草剤を混用する場合は、後から非選択性除草剤を投入します。

#### 播種時の土壌が乾いている場合

初期除草剤(土壌処理剤)は播種後の土壌表面に処理層を作り、雑草を枯らします。土壌が乾いている場合は、水和剤は溶く水量を多めにし、粒剤は耕起後の土に湿りがあるときに処理することで、効果が高まります。

また、処理後に大雨が降ると効果が低下しやすいので、天候を考慮して散布しましょう。



トレファノサイド抵抗性スズメノテツポウ

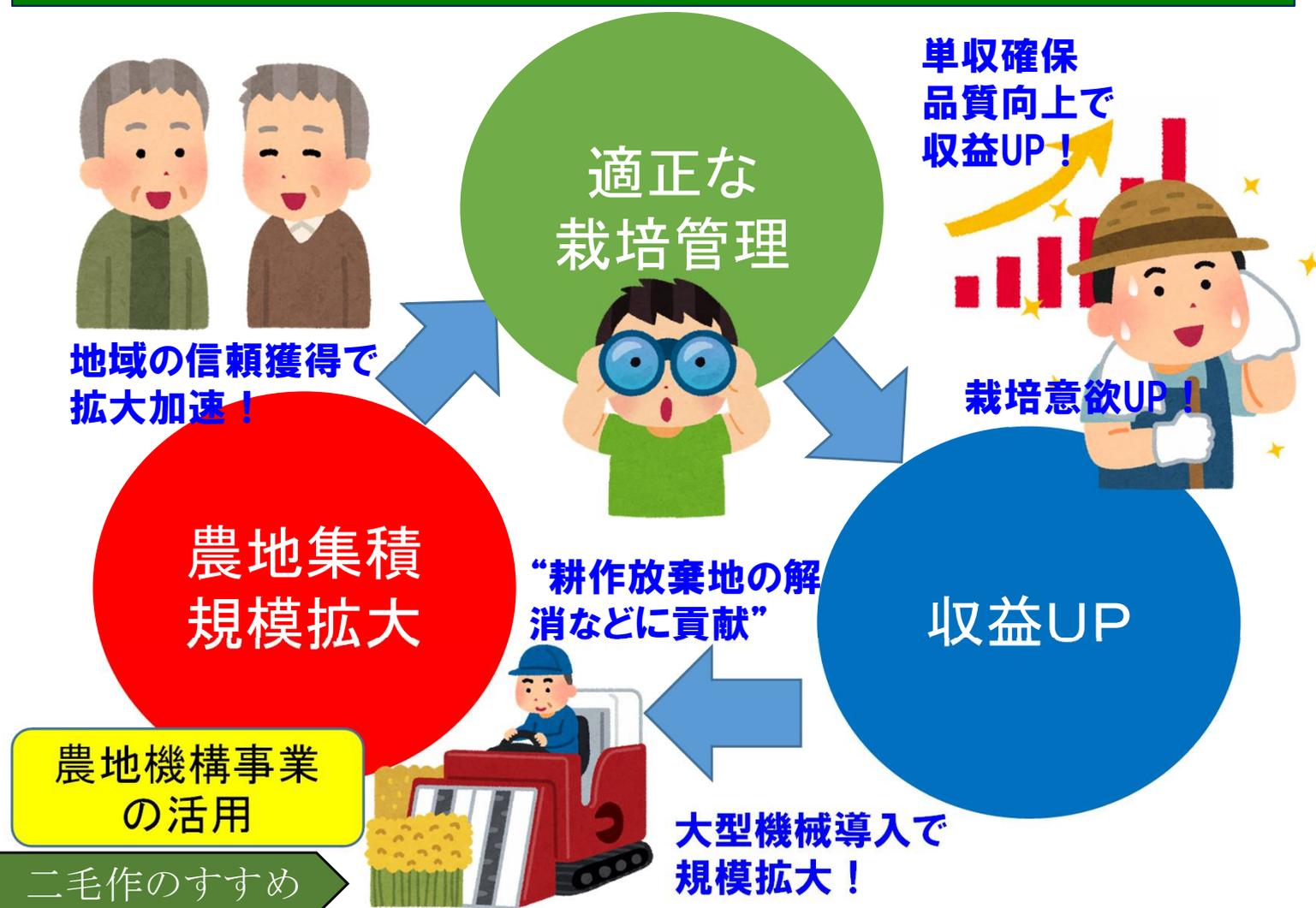
#### 除草剤抵抗性スズメノテツポウ

- ・トレファノサイドやハーモニーが効かない
- ・初期除草剤はボクサーやリベレーターが有効
- 残草があれば中期除草剤を散布





## “「稲+麦」の経営の好循環で地域に貢献”



- ①水稲と麦で、同じ農業機械を活用できます。
- ②水稲作付により、畑地雑草や畑作物の病害虫を低減できます。
- ③農地の有効活用により周囲からの信頼が向上し、農地集積による規模拡大がしやすくなります。

※麦類の支援策の対象者は、認定農業者・認定新規就農者・一定の要件を満たす集落営農組織に重点化されており、国や県、市町の「支援策が充実」しています。

※なお水稲の作付は、連作障害回避に有効であるとともに、湛水により一部の雑草種子を死滅させる効果があります。